

令和4年度第4回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 令和5年1月12日（木）10時00分～11時35分
- 2 場 所 さぬき市役所3階 302会議室
- 3 出席者 【委員】岩瀬委員 大風委員 大塚委員 梶山委員 黒川委員
中澤委員 三井委員 頼富委員
【市】向井審議監 中野総務部長 総務部政策課 間嶋課長
矢野課長補佐 原田課長補佐
【委託業者】(株)ぎょうせい
【傍聴】1名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議事
(1) パブリックコメント意見報告について
(2) 後期基本計画素案について
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 パブリックコメント意見報告
資料2-1 第2次さぬき市総合計画後期基本計画素案
資料2-2 第2次さぬき市総合計画後期基本計画素案 新旧対照表
参考資料1 中期基本計画点検・評価報告書
参考資料2-1 後期基本計画基本施策別目標指標一覧
参考資料2-2 後期基本計画基本施策別目標指標一覧 新旧対照表
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	<p>(10:00) 皆さん、おはようございます。</p> <p>本日は御多忙の中、令和4年度第4回さぬき市総合計画審議会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>なお、本日、石原委員、太田委員、尾崎委員の3名の方は、欠席の連絡をいただいておりますこと、御報告させていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、会議の公開について御報告させていただきます。本審議会の会議につきましては、附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づき、昨年、第1回本審議会において公開することで御了解いただいております。本日の審議会におきましても公開することを御報告させていただきます。</p> <p>なお、本日、傍聴者が1名おいでますことを御報告させていただきます。</p> <p>それでは、梶山会長より御挨拶いただき、そのまま議事の進行にお移りくださいますようお願いいたします。</p>
会長	<p>(会長挨拶)</p> <p>それでは、議事を進めます。</p> <p>議事(1)「パブリックコメント意見報告について」、事務局から説明願いたい。</p>

事務局	(事務局説明)
会長	意見などがあれば伺いたい。
委員	市の考え方を読むと、重点プロジェクトが具体的な行動に落とし込まれないまま放置されている現状があるように思うが、大丈夫なのか。後期基本計画に入ると改善されるのか。今、改善案があれば、修正は必要ないが、ないのであれば修正案として追加する必要がある。そうしないと4年後も同じ質問が来て、同じ回答をすることになるような不安がある。
事務局	中期計画を策定した頃に比べると、何も進んでないこともないのですが、評価として進んでいるかといえば、そこは難しいところがあると思います。今後の市の方針としても、市民や事業所と協働する必要があり、市民参画につながってくると思いますので、取り組んでいくべき課題だと思います。
委員	意見を出された人は、今を心配しているというよりも、後期計画の中で改善していく方向性があるのか、目標指標に入っているのかを気にしていると思った。具体的な目標も書いていなかったが、どう考えているのか。
事務局	重点プロジェクトは指標を設けていません。市役所の部署それぞれがこういう意識を持って取り組んでいこうというものです。その意識を持って、後期の4年の事業に取り組むということになります。
委員	民間の感覚からすると「重点」と付くものは指標があるイメージがあったが、意識を持つだけでよいということだった。今回、重点プロジェクトについて意見が出ているので、意識なら「市役所内で、そのような行動をしていると答えた人の割合が〇パーセント以上を目指す」といったような指標を置くことは大事ではないかと思う。修正案に盛り込まなくてもよいので、さぬき市の中で考え方を広めていこう、定期的に浸透度をチェックすることを検討するとよい。
委員	地域住民、自治会長としては、さぬき市の前向きな姿勢は評価できるという気持ちだ。住民から出るたくさんの要望に対して、例えば生活環境課や危機管理課は前向きに積極的に取り組もうとしているのがみえる。また新型コロナウイルス感染症の流行で今は全自治会長が出席できていないが、市政懇談会という市長に直接問いかける場がある。自治会にフィリピンから来た家族がいるが、コミュニケーションを取りにくい面があることから、英語版のごみの回収についての資料を作してほしいと市長要望に上げようと思っている。このような市の前向きな姿勢は評価できる。 委員から具体的にどう落とし込んでいくかという意見があったが、住民も要望を積極的に出していく、市政に積極的に関わっていく姿勢を見せないといけない。受け身で「何をしてくれるのか」ではなく、自分自身がどう動いていくか、どう働き掛けていくかが大事だ。
会長	ほかにあれば伺いたい。 パブリックコメントでは意見がたくさん出た。
事務局	意見を出した人は2名です。

会長	続いて、議題（２）後期基本計画素案について、事務局より説明願いたい。
事務局	（事務局説明）
ぎょうせい	（ぎょうせい補足説明）
会長	内容が多岐にわたっているので、基本目標別に審議してもらいたい。まず基本目標１について、意見など伺いたい。 基本施策３、４の農水産業の振興について、ふるさと納税が少し増えて、数億円と聞いている。
事務局	昨年度の実績は３億８，７９５万円です。
会長	数年前は数千万円程度だったと思う。
委員	ふるさと納税は１５５ページに実績値と目標値が出ており、２０２６年度の目標は５億円となっているが、東かがわ市や三木町では９億円近い実績がある。さぬき市も「讃岐のさぬき」として、全国に誇れるリーディング事業などを発信して金額を上げていく考え方はあるのか。
事務局	確かに遅れている感じがありましたが、昨年度、ポータルサイトや返礼品を増やし、生産者とサイトなどの間に中間事業者も入ってもらいました。その影響で３億８，０００万円という実績値になったので、引き続き担当課がポータルサイトや返礼品の充実に力を入れて取り組んでいます。一気に金額が上がるかは分からないので、計画としては５億円という数字にしました。
委員	全国に誇れるリーディング事業を「讃岐のさぬき」として立てたらどうかと思った。返礼品で釣る方法もあるが、いろいろ考慮してもらいたい。
会長	続いて、基本目標２について伺いたい。 ９７ページ基本施策９主要施策２にある「運転免許証を自主返納された高齢者に対する支援」について、具体的なものはあるのか。
事務局	現在、移動支援として、コミュニティバスの乗車券等を支給しています。
会長	移動は不可欠で、免許を返納すると生活できなくなる。さぬき市は広く、山もあるので、大変な事業だと思う。
事務局	公共交通整備の考え方として、コミュニティバスの在り方を今後検討する必要があります。
会長	いずれ私たちもその対象者になるので、どうなるのかと個人的に思う。 ほかになれば、基本目標３について伺いたい。
委員	１３２ページ基本施策２３の目標指標「放課後子ども教室参加児童数」の実績値が２，２４３人となっているが、幼稚園と小学生が１年間で参加した数だ。施設数などはどう理解すればよいか。

事務局	施設は各小学校に開設されています。幼稚園は特になのですが、津田地区では津田子ども教室と同じ所で、希望する幼稚園児も参加しています。
委員	いくつあるのか。
事務局	小学校は7つあります。
委員	母親が働いている時代なので、子どもも助かっている。力を入れていくべきことだと思う。多いか少ないかが分からないが、もっと多くてもよいのではないか。日曜日でも実施しているのか。
事務局	学校によっては土曜、日曜も行っています。放課後子ども教室とは別に、福祉関係で放課後児童クラブもあり、保護者の仕事の状況で預かっている。 放課後子ども教室は保護者の仕事の状況に捉われず、参加してもらおう事業となっています。
委員	年間の実績値が少ないような気がする。
委員	放課後児童クラブに参加している子どももいるので、放課後子ども教室参加児童数だけの数字では大小を比較しにくいと思います。
委員	捉え方と力の入れ方について、もう少し具体的な形で進めた方がよいと思う。
委員	今年小学1年生になる孫に「時間外保育があるので、学校が終わったらそこでお母さんの迎えを待つだけどいいか。」と聞くと「行かない。自分で家に帰って待つ。」と言う。こういう選択はできるのか。また、4月以降入ることはできるのか。
事務局	放課後児童クラブであれば、大丈夫だと思います。ただ費用はかかる。一方、放課後子ども教室は、おやつ代くらいの費用はかかるが、基本的に費用がかかりません。そろばんやパソコン、宿題などをやっています。
委員	津田小学校はどちらもあるのか。
事務局	学校の校舎内に放課後児童クラブがあり、学校からすぐ行けます。
会長	ほかにあれば伺いたい。 茨城県などの自治体の、子育て世帯が「移りたい」という市は活気が出る。相乗的なプラスの効果が出ている。これからの計画でさぬき市が周辺自治体と比べて、子育て支援に特長が出るのか。ここに来ればよいことがあるか。
委員	ある。最近、子育てサポーターとして赤ちゃんのいる家に行ったとき、2年間有効の家族で使えるタクシーチケットが6万円くらいあった。病院でも、気分転換でレジャーのようなものでもよい。これまでなかったもので、良い案だと思った。 資料をみると、子育てするにあたっていろいろなものがあった。さぬき市に婦人科の医師が常勤しているのは心強かった。
会長	そういうものも含めて、うまくアピールできるとよい。そうすると、さぬき市に移ろうとなる。

委員	<p>ほかになれば、基本目標4について伺いたい。</p> <p>前に委員から、130ページ基本施策22の目標指標「授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合」が低いのではないかと指摘があったが、そのときは「第3次教育振興基本計画を策定中で分からない」と私が答えた。</p> <p>12月6日に教育振興基本計画の委員会があり、委員の意見を伝えたところ「文章で分かるか聞くと、小中学生はこの程度しか答えない」「だいたい分かるというのは8割程度」ということだった。文章で聞くとこういう回答しかしないし、全国や県の学力テストの数値を出すと、不要な競争をあおるなど問題が生じやすいという意識だ。2022年文部科学省主催の全国学力学習状況調査で、香川県は全ての科目で全国平均と同じか上回っている。国語と中学校の数学は全国平均を上回り、理科は全国平均と同じだ。併せてさぬき市は、香川県の平均だった。</p> <p>そんなに悪い成績ではないのに、文章で聞くと、なぜこういう答えになるのか。教育委員会の回答では、今後8割を目指すそうだが、中学2年生の実績値62.4が将来80になるのは、心理学的には難しいそうだ。</p> <p>脳科学者の中野信子先生によると、不安の遺伝子を調べるとき、水が半分入っているコップを見てもらい「まだ半分ある」と思うか「もう半分しかない」と思うか尋ねるそうだ。「もう半分しかない」と思う日本人は65パーセント、アメリカ人は18パーセント、「まだ半分ある」と思うアメリカ人は32パーセント、日本人は3パーセントだそうだ。日本人は世界の中でも不安に思う人が際立って多い。</p> <p>児童・生徒の割合の話に戻ると、8割程度分かっているなら大丈夫だと思うが、「まだ8割で2割も分かっていない。これでは希望の大学に受からない」などと不安に思う。一方、学問的には、半分しかない不安に思った人の方が学業成績は高いという研究データもあるようだ。</p> <p>なぜそんなに不安に思うかといえば、日本の環境が災害大国だからだ。世界の陸地面積に占める日本の割合は0.25パーセントだが、災害被害総額でみると、日本は世界の20パーセントを占めている。つまり災害被害が多いので、不安に思う人の方が生き残りやすい。楽観的に考えていると、日本では生き残りにくい環境圧力が高いと中野先生が話されている。</p> <p>周囲でも8割分かっているけど、まだまだと思っている人の方が勉強を頑張る。意識的に活字で聞くと、低いデータが出やすいらしい。</p> <p>併せて自己肯定感も調べるが、日本人の自己肯定感の捉え方の尺度がアメリカ的になっているため、日本人には即していないという研究もあるようだ。</p> <p>大事なものは学力定着の割合だ。そして委員への回答としては、低いのは児童・生徒のマインドで、日本人特有のものであり、実態の学力とは乖離があるということだ。</p>
会長	<p>基本目標5についてはどうか。</p> <p>145ページ基本施策30自然環境との共生の基本方針は、こういう表現が一番ふさわしいと思う。147ページの目標指標「市内で排出される温室効果ガス(CO2)排出量の削減率」の実績値と目標値はどういうところで出てきたのか。</p>
事務局	<p>環境省が公表している自治体排出カルテに、温室効果ガス(CO2)排出量の削減率が自治体ごとに出ていますので、それを入れています。</p>
会長	<p>国が統計を取っているのか。</p>

事務局	環境省が毎年自治体カルテで出しています。
会長	ほかになれば、基本目標6について伺いたい。
委員	154ページ基本施策34の「まちづくり寄附金」は、何かに使う目的があるのか、既に使っているのか。
事務局	寄附金は寄附される人が目的を指定する場合と、自由にという場合があります。まちづくり寄附金は、一度、市の基金に積み立てています。例えば学校関連にという目的が指定されている場合は各学校の設備などに使うなど、指定された各種事業の財源として活用しています。
会長	金額は納税者が払った金額そのものか、事務手数料などを除いた、実際に入ってくる収入なのか。
事務局	寄附された金額です。返礼品などで3割かかりますが、寄附金でなく市の財源で対応しています。
会長	100万円寄附があっても、返礼品などで30万円かかるので、実際は70万円だ。とすると3億8,000万円の寄附も3億くらいになる。真水ではない。4億円近くあると、返礼品は農業、水産業の人への地域振興になるわけか。
事務局	はい。
会長	たくさん寄附してもらいたい。 基本施策40は、黒川委員が詳しいと思う。
委員	国のデジタル田園都市国家構想について、デジタル庁と話したことがあるが、一番の肝はマイナンバーカードの普及だそう。 169ページの目標指標にある、マイナンバーカード普及率の目標値98パーセントが達成されるとインパクトがあると思う。例えばふるさと納税は、今は手続きが面倒だが、マイナンバーカードとひも付けされると、登録すればどのサイトからの自治体に寄附したかが見られる。新型コロナウイルス感染症関係だと、今やっている旅行支援でもアプリをかざすと、一瞬でワクチン接種の履歴が分かるので、紙を持ち歩かなくてもよい。作業は1分程度で終わる。国もひも付けていろいろなことが便利になる。また、民間事業者がマイナンバーカードを使ったサービスを提供できる助成金を作っている。これまでメールアドレスや電話番号などを登録していたのが、マイナンバーカードでログインしたら簡単にできるようになる。
委員	裏を返せば、個人情報を守られるか。それが一番心配だ。
会長	マイナンバーカードの番号だけでは、何も分からないそう。 心配はないと、河野大臣が言っている。
委員	リスクに関しては詳しくないが、保険証やクレジットカードも落としたらリスクはあるので、あまり変わらないと個人的には思う。ただ、まとまる分、便利になるので、便利とリスクを天秤にかけてたと思う。なくしたときの対策はさすがにとっていると思う。

会長	<p>2021年度の実績値は高いのか、低いのか。</p> <p>マイナンバーカードで不便に思うのは、証明書に使えることだ。銀行で口座を開設するときに運転免許証は使えるが、マイナンバーカードは使えない。そういう機能を入れたらと思うが、セキュリティの問題があるのかもしれない。</p> <p>ほかにあれば伺いたい。</p> <p>161ページ基本施策37を推進、充実していけばと思う。</p>
委員	<p>自治会も市に働き掛けていくと、より一層開かれる市政になると思う。</p>
会長	<p>声を出して聞いてもらい、いくつか反映されればよい。</p>
委員	<p>輪番制でなく、長く自治会長をしてくれるとよい。</p>
委員	<p>会長が1年で交代の自治会もある。それでは何にもできないし、自治会長の仕事が終わった頃に交代になる。住民にも自治会にも問題がある。</p>
委員	<p>1年ごとは多い。輪番制だ。山間部は限界集落ではなく、消滅集落になっている。</p>
会長	<p>意見を自由に言える場があれば、たくさんの意見が出てくる。</p> <p>ほかになれば、これで議事を終了とする。</p> <p>その他にあれば事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>(事務連絡)</p>
会長	<p>閉会挨拶</p> <p>閉会 (11:40)</p>